

春一番コンサート

ジャパン × KOREA の融合
コリア

『親舊達』の世界

～打楽・舞・歌が溶け込み生まれる
伝統ながらも新しい「遊合芸能」～



親舊達

3/13 sat.

午後6時30分～8時30分
(開場は6時)

富田林市立**公会堂**

*定員：350人

*入場料：無料（整理券が必要）

※整理券は2月6日(土)より、中央・東・金剛の各公民館で発行します

◆主催：富田林市立中央公民館（TEL：0721-24-3333）



親舊達（チングドウル）とは？

韓国打楽器・朝鮮半島民謡・舞踊・和太鼓・篠笛・日本民謡に携わる在日コリアンと日本人による、コラボレーション・ユニット。2006年、パクウォン（韓国打楽器奏者）を中心に結成。

日本という地で生まれ、在日僑胞としてのスタンス、在日アーティストとして何かを創造し、発信していきたいという気持ちがチングドウルの結成の原点ともいえる。その想いに日本芸能の再創造を試みる和楽器奏者らが呼応し、唯一無二の、温故知新を心掛けた中で生まれてくる親舊達ワールドを構築する。

日本の音楽（pops、rock等）が溢れる中で生活する在日コリアンにとって、日本の伝統音楽に触れることはごく自然な流れといえる。また、日本人にとって、KOREAの芸能との出会いは日本芸能のルーツと発展の可能性を探る旅である。

KOREAと日本の芸能に表現基盤を置きつつも、伝統をダイナミックに多様化／現代化させた世界観は、時に世界の民族音楽のエッセンスすら内包する懐の深さと柔軟さを併せ持つ。

両文化の伝統芸能を知り共感・共存し合うことで新しいものを生み出し、融合された芸術を作り上げようとする「チングドウル」のフィールドは、日本からKOREA、そして世界へと向かっている。



パクウォン / Park Won（韓国打楽器チャング・ケンガリ他）

高校在学時に韓国伝統打楽器の杖鼓（チャング）に出会い、その音楽世界に共鳴を受ける。後にプロ奏者として活動を始め、サムルノリ演奏を中心に展開。

小、中、高、大学の各学校での公演やイベント出演・コンサート、海外での公演を重ねる。また、民俗音楽・伝統形式のスタイルに留まらず Jazz・Rock・Classic 等様々なアーティストとも交流を持ち、セッションも多数行っている。

2000年より国立三重大学非常勤講師も務め、地元でのチャング教室や、各地でのワークショップでもチャング・サムルノリの指導にあたっている。

2006年、在日アーティストとして祖国と日本の架け橋となるべく両国の芸能を融合（遊合）した親舊達チングドウルを結成。

中島弘如 / Nakajima Hiroyukia（和太鼓・篠笛）

和太鼓・篠笛奏者。和太鼓団体 BATI-HOLIC メインコンポーザー。

日本に伝わる郷土芸能と、異文化の音楽とを比較研究し、それらの接点を模索する。個人の活動経歴として、愛知万博、国際科学技術会議レセプション（於：京都大覚寺）出演など。



朴貞任 / Park chong im（歌）

在日三世。専攻～民謡歌手。

現在舞台歌手と音楽療法士としても活動中。

1986～2002年にかけて、京都朝鮮歌舞団に在籍。

退団後、在日コリアンのマネジメントオフィス

JC 工房に登録。

永田充 / Nagata Mitsuru（パーカッション・和太鼓）

ドラム・パーカッション奏者。世界の様々な伝統の太鼓に親しみ、BATI-HOLIC メンバーとして国内外での公演に参加する。

また、アラブの打楽器“ダラブッカ”の奏法に精通し、FUJI ROCK FESTIVAL'07にてパフォーマンスを行うなど、関西の第一人者として知られる。

多様なバックボーンを活かしたジャンルを問わない演奏スタイルで、ライブ・レコーディングへの参加多数。

趙恵美 / Cho Hyemi（舞）

九歳から舞踊をはじめ、日本・韓国と様々な公演に出演。

在日 KOREAN ダンサーとして朝鮮と韓国舞踊の基礎を軸とした創作活動を行いつつ、日本の文化にも触れ新しい芸術世界をつくりあげようとしている。

